

授業科目名： 英語表現 (presentation)	教員の免許状取得のための 選択科目	単位数： 2単位	担当教員名：森 直樹 担当形態：単独
実務内容 (実務家教員の場合)			
科 目	教科及び教科の指導法に関する科目（中学校及び高等学校 英語）		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	教科に関する専門的事項 ・ 英語コミュニケーション		
「学位授与の方針」との関係 星槎大学は、「人を認める、人を排除しない、仲間を作る」という三つの約束のもと、「人と人、そして人と自然とが共生する社会の創造に貢献する」を教育理念としています。共生科学部は、この三つの約束、教育理念に基づき、「21世紀を創造する広く深い知の涵養」「共生する心の耕作」「課題探究能力の育成」「インクルージョン教育に基づいた社会実践を担い、社会変革を目指す人材の養成」を教育目的とし、以下の「星槎共生スピリット」を身に付けたものに学位を授与します。 A. 共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現の専門的知識を生かし、狭い専門領域を越えて統合しようとする意志を持つこと。 B. 問題が生起する現場において、専門知や統合知を使い、解決のために実践しようとする気概を持つこと。 C. 共感理解教育の理念を認識し、実践すること。 D. 多様な人々や生命に対して、他者を認め、他者を排除せず、仲間を作るという星槎の三つの約束の精神に則って、共生社会の創造に貢献する姿勢を身につけていること。 E. 個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけていること。 F. 共生社会創造の目的のために、絶えず学び続ける意欲を持つこと。			
授業の到達目標及びテーマ 英語科教員に必要なプレゼンテーションを中心とした英語表現スキルをみがく。			
授業の概要 本授業では、まず、テキストでプレゼンテーションの方法を学び、必要な情報を集めて英語による原稿を作成する。スクーリングでは、実際にプレゼンテーションを行い、担当教員及び受講学生間で相互評価を実施する。最後に、自身のプレゼンテーションを振り返ることを通して、自身の英語表現のスキルアップを図る。			
授業計画 第1回：本授業の学び方 第2回：プレゼンテーションの構造（テキスト Unit1） 第3回：プレゼンテーションのスキル（テキスト Unit2） 第4回：情報収集と情報倫理（テキスト Unit3）			

第5回：プレゼンテーション環境の準備（テキスト Unit4）

第6回：列挙型プレゼンテーション（テキスト Unit5）

第7回：分類型プレゼンテーション（テキスト Unit6）

第8回：プロセス型プレゼンテーション（テキスト Unit7）

第9回：調査型プレゼンテーション（テキスト Unit8）

第10回：報告型プレゼンテーションの実践（テキスト Unit9）

第11回：問題解決型プレゼンテーション（テキスト Unit11）

第12回：説得型プレゼンテーション（テキスト Unit10）

第13回：原因・結果型プレゼンテーション（テキスト Unit12）

第14回：比較対照型プレゼンテーション（テキスト Unit13）

第15回：説得型・提案型プレゼンテーションの実践（テキスト Unit14）

定期試験

＊スクーリングでは第10回～第11回を中心に行い、すべての内容を包括的に取り上げる。

教科書

森田彰・原田慎一・北村一真・杉本清香・Bill Benfield（著）『Winning Presentations 動画で学ぶ英語プレゼンテーション－覚えておきたい8つのモデル－』成美堂，2018

参考文献

クリス・アンダーソン(著)・関 美和(訳)『TED TALKS スーパープレゼンを学ぶ TED 公式ガイド』日経 BP 社，2016

学生に対する評価

スクーリング評価（25％）、レポート評価（25％）、科目修得試験（50％）を総合して評価する。